

科目名	展示計画論				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2022年度 前期	単位数	2		
担当教員	成田 英樹				
内容および計画	<p>華やかなショッピングモール、賑わいの有るイベント、憩いの有る公園、好奇心を満たす博物館、世界の情報が会する博覧会など、「展示(Display)」は人が集うあらゆるシーンで活躍し、「空間・情報・演出」を総合的に捉えた立体的な情報伝達によって、情報発信者のメッセージを最大化します。</p> <p>「展示(Display)」の採用により、モノ・コトの印象をドラスティックに変える事ができるだけでなく、製品の売り上げや話題性、人々の感動をも拡張することができます。</p> <p>この講義は、普段は気づきにくい「展示・ディスプレイ現象」を顕在化し、商業空間、エンターテインメント空間、博物館空間における歴史・特徴・優れたテクニックを考察する“展示計画概論”です。</p> <p>また今日「実空間の多様化」「バーチャル空間の出現」「情報の多様化・グローバル化」「演出技術のハイテク化」など、時代や社会の要求に合わせて領域を拡張して更なる進化を遂げており、その未来像や可能性についても推察していきます。</p> <p>近隣施設調査では、習得した知識で実地検証を行い、自ら合理的に展示を評価して頂きます。</p> <p>またグループ課題演習を通し、展示デザインが協同作業であることへの理解と、デザイナーの実務を疑似体験して頂きます。</p>				
1	オリエンテーション 展示デザインとは何か？ 自己紹介、講義内容のガイダンス				
2	展示の歴史 商行為から博物館まで				
3	展示プロセスとスタッフ 調査～企画～設計～施工、さまざまな役割とスキル				
4	展示のテクニック① 展示シナリオと空間構成（空間効果と特性・ゾーニングと動線計画・UD）				
5	展示のテクニック② 展示メディア（実物・解説・装置・造形・映像・照明・インタラクティブ）				
6	展示市場別の計画① ディスプレイのカテゴリー（ショップ・イベント）				
7	展示市場別の計画② ディスプレイのカテゴリー（ミュージアム・アトラクション等）				
8	展示実態の視察① 施設実習によるディスプレイテクニックの振り返り（近隣施設調査）				
9	展示実態の視察② 施設実習によるディスプレイテクニックの振り返り（近隣施設調査）				
10	プロポーザル課題演習① 仮想展示施設企画（計画）のグループ演習（企画書制作）				
11	プロポーザル課題演習② 仮想展示施設企画（計画）のグループ演習（企画書制作）				
12	課題プレゼンテーション① グループ別プレゼンテーション及び仮想顧客からの質疑応答				
13	課題プレゼンテーション② グループ別プレゼンテーション及び仮想顧客からの質疑応答				
14	課題評価 ループワーク（企画・デザイン・プレゼンテーション）の講評				
15	ディスプレイの未来 新領域にチャレンジするディスプレイデザイン（市場・対象・技術）				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
教科書は使用しない。					
参考書	①『展示学事典』 日本展示学会 ②『ディスプレイの世界』 日本ディスプレイデザイン協会・団体連合会 ③『空間デザイン帖 リアルバーチャル』 日本空間デザイン協会				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
出席状況	出席率に応じて評価				30
施設調査レポート	講義の理解度と展示の考察内容を評価				20

グループ課題演習	テーマに対する斬新な発想や表現力を評価	30
グループ課題演習	プレゼンテーションと質疑対応を評価	20
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活において「展示(Display)デザイン」というメディアを顕在化できるようになること。 ・「空間・情報・演出」を駆使してメッセージを発信する、送り手の存在と工夫に気付くこと。 ・展示デザインの合理性や研ぎ澄まされた感性が、学生諸君の将来へのヒントの一助となることを願う。 	
先修条件	特になし	
実務経験	<p>実務経験あり：1989年（昭和64）株式会社乃村工藝社入社、勤続30年。主として公共文化施設（博物館・科学館・ビジターセンター・広報施設等）市場の企画・設計・施工業務を担当。</p> <p>空間デザインだけでなく、ハンズオン・映像コンテンツ・駆動装置の企画設計も手掛け、総合的なコミュニケーションデザインのディレクションを行う。</p>	
その他	必修・選択の別:選択	